



主体的に学び、社会の発展に貢献する 責任感と実践力を持った人材へ

1期 創造性 文化の独自性を融合した
国際標準たり得る理科
カリキュラムの研究開発

2期 批判的思考力 「国際バカロレア教育を
参考にした創造力と批判的
思考力を育成する学び」

- 課題研究
- 教科連携
- 構成主義的授業
- 高大連携

批判的思考力

主体性

3期 主体性

「主体性を涵養し、社会的責任を配慮した
『社会との共創』を実現できる教育手法の開発」

**4期 協働的な学び
知の統合**

- 自由研究
- データサイエンス
- サイエンスキャリア講座

「主体性を持ち、多様な
要素を有機的に構成できる
クロスオーバー型
科学技術人材の育成」



玉川学園は「全人教育」を教育理念として、幼稚園から大学までを一つと捉えた「K-16一貫教育」を行っている。これまで、国際バカロレア教育(以下IB教育)を参考にした創造力と批判的思考力の育成(第I～II期)、自己効力感を向上させることによる主体性を涵養する教育手法の開発(第III期)により、学内外の研究者や企業・地域との連携が広がり、各生徒が研究内容を深め主体的に取り組むことができる体制が構築された。一方で、カリキュラム開発や課題研究の指導と評価の一体化、協働的な学びの更なる改善が必要と考える。また、科学技術人材の育成にあたっては、創造力と批判的思考力の向上を目指し、主体性を育成する手法を定量的なデータをもって開発することができた。しかし、社会との共創を実現するためには主体性や批判的思考力だけでなく、深い知識と広い知識を合わせもち、複数の答えを探究していく知の統合ができる人材の育成をより推進する必要がある。